



さしかえ

平成30年
2月号
第411号

発行 / 栄村役場



～けまん紋～

JR飯山線森宮野原駅において、駅舎のライトアップが行われています。

栄村の夏祭りで行われる獅子舞の柄に使われる紋様からデザインされ、五穀豊穰、無病息災の願いが叶うとされています。

ライトアップは3月末まで行われていますので、ぜひ一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

主な内容

■納税申告相談について	P2
■米政策について ほか	P4
■奨学金制度について ほか	P5
■スキー場情報について ほか	P6
■保健だより	P11
議会報(第185号)	P14-21
公民館報(第321号)	P22-29

確定申告のお知らせ

所得税・個人消費税・贈与税の確定申告会場を次のとおり開設いたします。なお、確定申告会場の開設日までは、相談スペースが限られており、長時間お待ちいただく場合があります。

◇会場

信濃中野税務署 2階会議室

◇期間

平成30年2月16日～3月15日
土日を除きます。

◇時間

- ・受付 午前8時30分から
- ・相談 午前9時から午後5時

※申告書の作成には時間を要しますので、午後4時頃までにお越しください。

なお、相談内容が複雑な場合は、午後3時頃までにお越しください。相談が午後5時を過ぎる場合には、再度お越しいただく場合があります。

※確定申告会場は大変混雑するため、長時間お待ちいただく場合や受付を早めに締めきる場合があります。
◇国税庁ホームページ「確定申告書

等作成コーナー」をご利用いただくことと自宅等で確定申告書が作成できますので、書面で印刷して送付・e-Taxで送信（事前準備が必要）のいずれかでご提出ください。

◇「確定申告書等作成コーナー」の操作や確定申告に関するご質問、ご相談は、まずは電話にてお問い合わせください。

《作成コーナーの操作などに

関するお問合せ》

eTax・作成コーナー

ヘルプデスク

☎0570-015901

受付時間

月曜～金曜（祝日等を除きます）

《確定申告などに関するお問合せ》

信濃中野税務署

☎0269-223151

医療費控除を適用される方へ

平成29年分の確定申告から、医療費控除は領収書の提出が不要となりました。

なお、領収書の提出の代わりに

「医療費控除の明細書」の添付が必要となり、税務署から記入内容の確認を求める場合がありますので、領収書は5年間保存する必要があります。

※提出が不要となる領収書には、医療費控除を受けるために必要な医師等が発行した証明書は除きます。（例。おむつ使用証明書・在宅介護費用証明書など）

※平成31年分の確定申告までは、従来どおり領収書の添付又は提示によることもできます。

セルフメディケーション税制

健康の保持増進及び疾病の予防として一定の取組を行うが、特定一般用医薬品等購入費を支払った場合は、通常の医療費控除との選択により、セルフメディケーション税制による医療費控除の特例を受けることができます。

この特例の適用を受ける方は、①「セルフメディケーション税制の明細書」の提出及び②適用を受ける年分において一定の取組を行ったことを明らかにする書類提出又は提示が必要となります。

公的年金等を受給されている方へ 確定申告不要制度 について

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下であり、かつ公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下であるときは、所得税の確定申告書を提出する必要はありません。

※所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。

なお、所得税の還付を受ける場合や確定申告書の提出が要件となっている控除（例えば、純損失や雑損失の繰越控除など）の適用を受ける場合には、確定申告書の提出が必要となります。

また、平成27年分以後は、外国の制度に基づき国外において支払われる年金など源泉徴収の対象とならない公的年金等を受給されている方は、この制度は適用されません。

白鳥区関係者に JRから感謝状

12月26日(火) 白鳥公民館において東日本旅客鉄道株式会社長野支社より、白鳥区の関係者に感謝状が贈られました。

今回感謝状が贈られた経緯は、9月17日に猛威をふるった台風21号の影響で、白鳥区内を走るJRの橋梁付近において倒木が発生し、その状況を発見しJRへ通報したこと、列車脱線などの重大な事故を未然に防いだ迅速な対応に感謝の意を表しました。

当日は第一発見者の芋川氏、白鳥区長の半藤氏、JR白鳥駅管理人の有田氏の3名が、JRから感謝状を贈られました。



▲表彰された有田氏(左から2番目)、芋川氏(中央)、半藤氏(右から2番目)

自動車の登録・検査 手続きはお早めに

毎年、3月下旬は自動車の検査・登録申請が多く、窓口が大変混み合います。車両の手続きは、1カ月前から受検できますので、なるべく2月中に、廃車・名義変更等の手続きは、3月中旬までに申請されるようお願いいたします。

【問合せ先】

長野運輸支局
登録の場合

☎050-5540-2042

・検査の場合

☎026-243-5525

自動車税の廃車・名義変更 手続きはお済ですか？

自動車税は4月1日現在の自動車の所得者に課税します。

下取や譲渡等をして自動車がお手元にならない場合でも、3月31日までに名義変更登録手続きが完了しないと、平成30年度の自動車税はあなたに課税されます。忘れずに登録手続きをしましょう。

【問合せ先】

長野県総務部税務課自動車税係
☎026-235-7051

平成30年の 米政策について

国民の食生活の多様化や少子高齢化などにより、米の消費量は減少しています。減反政策が廃止との報道もありますが、長野県農業再生協議会(長野県、市町村、JAグループ、集荷業社ほか関係機関・団体で構成される協議会)では、主食用米の需要に見合った適正生産を引き続き推進し、過剰作付けを抑制し、米価の安定を図ります。今後引き続き、主食用米の生産調整につきましてご理解とご協力をよろしく願います。

◇平成29年度産をもって廃止となる内容

■米の直接支払交付金

■主食用米の作付けに対し、10aあたり7,500円支給。

■主食用米の「生産数量目標」の廃止
主食用米の生産調整は引き続き

行われます。(詳しくは次のとおり)
◇平成30年度産以降も継続する内容

■米の生産調整

行政による「生産数量目標」の配分は廃止されるが、国が示す需給見通しに沿って、長野県農業再生協議会が定める主食用米の「生産数量目安値」を提示し、引き続き生産調整に取り組みます。

■水田活用の直接支払交付金

水田でそばや大豆等を生産・販売した場合に交付対象となります。

■畑作物の直接支払交付金

そばや大豆の作物を生産・販売した場合に交付対象となります。認定農業者、集落営農、認定新規就農者が条件になります。

■米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)

米や大豆等の販売収入の合計が標準的収入額を下回った場合に補填。認定農業者、集落営農、認定新規就農者が条件になります。

【問合せ先】

産業建設課 産業振興係
☎0269-87-3113

冬季労働災害防止 運動について

中野労働基準監督署管内は、県北部に位置する積雪寒冷地であるため、冬季における低温や降雪、強い季節風などの気象条件による労働災害が多く発生する傾向にあります。

具体的な例として、積雪・凍結・寒冷に起因した転倒・墜落災害及び車両等のスリップ事故などが挙げられます。

平成29年10月末現在休業4日以上上の労働災害死者数は155人と前年に比べ28人の増となっており、1月3月まででは、前年31人に対し、60人と約2倍の災害が発生している状況です。

このため、安全衛生関係団体、事業者団体と連携し、事業場における自主的な安全衛生管理運動に一層の推進を図り、冬季労働災害防止を旨とする「冬季労働災害防止運動」が平成30年3月31日まで実施されていますので、各事業場では、労働災害防止に努めましょう。

【申込・問合せ先】

中野労働基準監督署

☎0269-22-2105

福祉の職場説明会・ 就職面接会

福祉の職場や資格について知りたい、福祉の仕事に就きたいという方のために左記の日程で福祉事業所の方と直接面談ができます。(保育園等の保育施設の参加も予定しています)

◇日時

平成30年3月9日(金)

(セミナー、プレゼンテーション)

13時～14時20分

(説明会・就職面接会)

14時30分～16時

◇会場

メルパルク長野 1Fホール

◇参加対象者

福祉分野での就職経験が無い、あるいは就業経験はあるもののその期間が短い者等、福祉関係職種に関する知識等で乏しい者で、次のいずれかに該当する求職者等
※セミナー・面接会ともに事前申込不要です。

※詳しくは長野労働局HP又は長野県社会福祉協議会HPをご覧ください。

長野県シニア大学 北信学部学生募集 について

長野県シニア大学は、シニア世代の多様な生き方、価値観、地域性を大事にしながら、学習を通して、地域社会の一員として、地域に関わることのできる人材の育成を目指しており、昨年度からは従来のコース(一般コース)に加え、長野学部へ専門コースを新設するなど、講座内容についてさらなる充実を図っており、今回左記の内容で平成30年度の学生の募集を実施することとなりました。

◇募集期間

平成30年2月1日(木)～

平成30年2月28日(水)

◇入学資格

概ね50歳以上の県内在住者で、学習意欲が旺盛であり、積極的に地域活動を目指す方
※過去に長野県シニア大学を卒業された方も入学可

【問合せ先】

長野県シニア大学

<http://www.nicesenior.or.jp/>

「その請求に困った ら」無料相談会

長野県司法書士会は、訴訟上あるいは訴訟外を問わず、金銭の支払い請求を受け、その対応に困っている方を対象とした、司法書士による「その請求に困ったら」無料相談会を左記の要領で実施します。

◇日時

平成30年3月17日(土)

10時～16時

◇相談方法

①面談相談(要予約)

会場：長野県司法書士会館2F

受付：月曜～金曜9時～17時

☎026-232-7492

※予約なしでも可能な限り対応しますが予約が優先です。

②電話相談

☎0120-448-788

◇相談料

面談及び電話相談ともに無料

【問合せ先】

長野県司法書士会

☎026-232-7492

月曜～金曜(平日)9時～17時

秋山協力隊通信

vol.32



栄村の皆様はじめまして。今年の1月より新たに地域おこし協力隊員として秋山に着任しました石川泰正(やすまさ)と申します。

出身は神奈川県小田原市です。城、蒲鉾、梅干しで名前を聞いたことがあるかもしれませんが。進学と就職・転職を機に東海地方を移り住んでいて、今回の栄村で8箇所目の居住地となりました。

自分を変えたい、それが地域おこし協力隊になろうとした一番の理由でした。今までの自分がしてこなかった未知の体験、生活の中にこそ考え、生き方を変える何かを得られると思ったからです。栄村、秋山郷との出会いは偶然で募集地域を調べ始めた時、ふと目に留まったことからでした。冬の栄村の景色はまさに未知との出会いでした。ただその環境に慣れてしまうだけだと今までの生き方と変わりがありません。この環境から何を学んでいき、自分に何ができるのか、人の役に立つ方法は何か、それを常に考えることが今後の一番の課題になります。

今では様々なメディアを通して地域おこしは広がっています。その評価はグルメや観光、文化遺産登録等の知名度、経済効果という点が伝えられがち

です。それらは一種のブームのようなことが多く、一時的な効果で終わってしまうことをよく聞きます。地域の魅力を長期で伝えるにはまず生活の満足度、楽しさを向上させ、地域に暮らす人々が日々の生活を楽しみ、周囲に誇れること。そしてその生活の様子を発信し続けることだと考えています。「喜びや楽しさは伝わっていく」が私の持論です。そんな暮らしに憧れや興味を持つて頂くことが地域おこしの一つの形と考えています。

まだ自分にできることを学んでいく新人ですが、協力隊の活動を通して更に多くの人に栄村を知っていただき、栄村の皆様のお役に立てればと思います。よろしくお願いします。

(地域おこし協力隊 石川泰正)



苗場山麓ジオパーク通信(33)



年末からこのひと月ほどの間で多くの雪が降りましたね。毎年なことではありますが、一日で1m近く積もる日が、二、三日も続くと除雪で体も疲れにくるものです。

ですが、雪が降らない日が続いてもやっぱりなんだか落ち着かない気になつてきます。そういうのもこの地域ならではののでしょうか。

この地域で雪は、八千年ほど前から多く降り始めたそうです。長い期間私たちは雪と共に暮らしてきたのですね。そんな、私たちの生活と共にある雪ですが、この地域の名所をつくるものもなっているのもご存知でしょうか。

例えば野々海池の湿原や、苗場山山頂の湿原。山頂には基本的には川がありませんので湿原の水は雨か、冬に大量に降る雪に頼っています。特に、苗場山頂が「神の苗代田」と呼ばれる由来になつている、池塘(ちとう)という小さな池は、ちょうど雪の降り始めた八千年前からでき始めたそうです。

また、夏も冬も雄大な景色を見せてくれる鳥甲山。山壁に縦の窪みが多く入り、剣のようでもきれいです。この縦の窪みも、雪のおかげで出来ているようです。多くの雪が降り、急な

斜面で雪崩やがけ崩れが起きます。それが川のように筋になり、縦の窪みを作っていると考えられています。紹介した名所以外にも、数多くの場所

所で雪がもと

になり出来上が

がつているこ

とでしよう。

改めて、私

ちは雪と共に暮らしているのだなと感じさせられます。

(文責 越智)



冬鳥甲山

ジオサイト巡り(座学)のお知らせ

【日時・内容】

2月9日(金) 18時30分〜20時

参加無料・どなたでも参加できます。

今年のガイド認定検定と、平成30年度のジオサイト巡りについてのお話です。

【持ち物】 筆記用具など

【会場】 津南町なじよもん

【申込み・詳しい問い合わせ】

苗場山麓ジオパーク推進室

☎025-765-1600

※ジオガイド養成講座も兼ねています。ガイド認定試験の受験を考えている方はぜひ参加ください。



栄村 議会報

発行 栄村議会
責任者 福原和人
編集 議会報編集委員会

第185号

内容：○林活議連視察報告 ○平成29年第4回定例会・主な可決案件 ○平成29年度予算推移
○一般質問8名

林活議連視察報告:須坂市仙仁地区「広葉樹更新伐採」・ 長野市保科温泉「木質バイオマスペレットボイラー」

産業社会常任委員会委員長 松尾 眞

10月24日に行われた林活議連視察について報告します。 ※参加者:議員9名・事務局1名

1. 須坂市仙仁山地区での天然林更新伐施業地

a) 視察対象として選択した理由

栄村の森林において大きな面積を占めるのが広葉樹林であることから、北信地域振興局林務課から提示された視察先リストの中から「天然林更新伐施業地」を視察対象地として選択した。

b) 地元組織である一般財団法人仁礼会の存在とその活動

天然林更新伐が実施された須坂市仙仁山地区の天然林は、地元民で構成する一般財団法人仁礼会が保有するもの。

仁礼会が保有する山林面積は1690haで、須坂市全体面積の約11%、須坂市森林面積の約20%を占める。また、仁礼会保有山林のうち553ha(33%)が天然林である。

仁礼会は326戸(うち休会7戸)で構成され、下草刈り、枝打ち等に無償出役している。当初は抵抗感があったと言うが、こうした作業が毎年実施されていることに驚いた。

理事長は常勤職で、保有林の状況を熟知している。このことが、今回の天然林更新伐を可能にした土台であると認識した。

c) 長野森林組合による施業

施業は平成27年11月の現地調査から始まり、とくに販路開拓・出荷先の確保を重視しながら準備を進め、平成28年11月～12月に事業実施された。

長野森林組合・西沢氏は、「仁礼会理事長の頭の中に山の様子がほとんど入っていたことが事業のベース」と言っていた。

広葉樹材の需要動向を調べ、伐採事業に幅を持たせ、需要に応じた出材を行ったことを強調していた。

集材方法はスイングヤードで、事業実施面積3.20ha、生産量766.16t、生産性は目標値3.0(t/人・日)に対して実績値3.71、売上額は851万1,851円、トン当たり11,123円。

「課題・反省点」として、「現場を決めてから販売先を探すのでは順序が逆」とされ、同時に「事業を継続して材を安定的に供給できるようにならないと顧客は作れない」とも指摘し、さらに「事業を継続させるためには基盤を整えなければならない（事業地の確保、技術力、マーケティング等）」ともしている。

販売材を得る目的で広葉樹林を伐採する事業はまだ事例が少なく、広葉樹更新伐の事業化には、パイオニア的な事業として事業地の確保と販売先の確保の同時進行的な調査・検討を深めていくことが求められていると受けとめた。

売上実績区分を見ると、ミズナラ薪材が重量比47%、売上比51%を占めている。長野森林組合の説明では、伐採実施広葉樹林ではミズナラ、コナラの率が高いほどよいと報告された。仙仁山地区の伐採実施の場合、成立本数の約3割がミズナラ以外であった。

d) 天然林更新伐実施現場の視察

バスで林地内を片道10分間ほど走ったが、下草刈りがしっかりと行われ、林地内の見通しが良いことが印象的であった。

更新伐実施地の状況は、以下の写真のとおり。



◀天然林更新伐実施地の全体像



伐実施後に発芽したもの▶

伐実施現場はかなりの急勾配地であったことから、「皆伐後、大雨などがあった場合に土砂崩れ等が発生する危険はないか」と質問した。「切り株自体が土壌を保持する力を相当に持っている。また、伐採時に切らなかった幼樹もかなり育っているので、それも土壌を保持するのに役立つ」との回答であった。

e) 今後の課題

栄村もまた村面積の約90%を山林が占め、かつ、広葉樹林面積が広い（針葉樹林面積の約2倍）。しかし、伐採事業実施のほとんどが人工林の針葉樹である。広葉樹林をどのように扱うかが大きな課題の1つだと思うが、今回の視察からは、事業計画・実施よりも以前の段階、まずは村内林地状況のしっかりした把握が必要であることを痛感した。

仙仁山地区での事業実施の土台には、先にも記したように、（一財）仁礼会の存在とその日常活動がある。栄村村内の各集落の生産森林組合等の活性化をどのように実現していくかを真剣に考えなければならぬと痛感した。



▲更新伐された林地の表面の様子
伐採による切り株、伐実施前に育ち始めていた幼樹の成長が見られる

II. 保科温泉木質バイオマスペレットボイラー

木質バイオマスペレットボイラーの設置・利用については、平成28年度視察と重なるところもあり、特異な新しい知見はなかった。

温泉は一般客（市民及び観光客等）用の施設と、高齢者福祉温泉施設の2つから成っている。高齢者福祉温泉施設の利用時間は昼間であるが、高齢者福祉の増進に積極活用されていることは注目点の1つである。

温泉は現在、指定管理で東京の民間会社に委託されているが、入浴料は施設所有者の長野市が決定しているとのこと。温泉が住民福祉の増進を図るための施設であることから、そのようにされていると考えられ、栄村の温泉施設の管理・運営のあり方を考えるうえで参考になると思われる。
以上



保科温泉設置の木質
バイオマスペレットボイラー▶

12月定例会・主な可決案件

案件名	内 容
◆—専決処分について— 平成29年度栄村一般会計補正予算（第4号）	・衆議院議員総選挙事務費、ダイヤ改正に伴う秋山線バス代替事業費 ・補正額：10,404千円
◆—専決処分について— 平成29年度栄村一般会計補正予算（第5号）	・平成29年10月23日発生した台風21号災害の復旧事業費 ・補正額：99,724千円
◆平成29年度栄村一般会計補正予算（第6号）	・人事異動による職員人件費、社会福祉協議会運営費補助金など ・補正額：52,691千円
◆平成29年度栄村国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	・国保保険者システム改修委託料、特定健診等委託料（減額） ・補正額：892千円
◆平成29年度栄村国民健康保険特別会計（施設勘定）補正予算（第3号）	・医療機器リース料など ・補正額：1,618千円
◆平成29年度栄村介護保険特別会計補正予算（第3号）	・居宅介護住宅改修費など ・補正額：205千円
◆平成29年度栄村簡易水道特別会計補正予算（第3号）	・給水管に係る修繕料、各事業の完了に伴う設計・施行管理費と工事費の減額 ・補正額：▲3,361千円
◆栄村福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について	・9月定例会で平成30年8月診療分から中学校卒業までの対象年齢について現物給付方式を導入する条例改正を可決したが、その後の県の調査でこの対象年齢を高等学校卒業までとした自治体が多く、それにならうべく条例改正を行うもの
◆栄村営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	・入居者の資格で、同居親族の要件が廃止されたため削除、単身者でも可能となったなど
◆栄村固定資産評価審査委員会委員の選任について	・広瀬隆司氏（森・新任）・関谷美彦氏（月岡・再任）
—追加議案— ◆栄村教育委員会委員の任命について	・現教育委員の任期が平成29年12月19日をもって満了となるため ・斉藤富美江氏（切欠）

◆平成29年度 栄村予算推移◆

単位：千円

区 分	当初予算	6月補正	7月補正	9月補正	12月補正	現在の予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	3,560,000	65,555	50,313	25,088	162,819	3,863,775	303,775	108.53
特別会計								
国民健康保険（事業勘定）	274,638	81		4,167	892	279,778	5,140	101.87
国民健康保険（施設勘定）	139,330	▲1,717			1,618	139,231	▲99	99.93
秋山診療所	6,462			2,600		9,062	2,600	140.24
後期高齢者医療	30,237					30,237	0	100.00
介護保険	404,040	214		9,812	205	414,271	10,231	102.53
簡易水道	173,215	98	6,800		▲3,361	176,752	3,537	102.04
生活排水	78,252					78,252	0	100.00
農業集落排水	15,845					15,845	0	100.00
スキー場	105,392	4,712		4,519		114,623	9,231	108.76
ケーブルテレビ	22,408			4,788		27,196	4,788	121.37
合 計	1,249,819					1,285,247	35,428	102.83

※▲は減額 ※平成29年度から介護サービス特別会計は、業務が社会福祉協議会に移管となったため無くなりました。



島田伯昭議員

豊かな発想、着想活かすアイデア箱を。

総務課長
検討したいと思う。

アイデア箱について

質問 人口減少に歯止めを掛けるために、「誰でも栄村に住んでください」という政策は、本村がかつて経験の無いテロ、暴力、過激活動など、反社会的者の住処になる危険性もあると考える。本質を隠した反社会的者拠点となるようなことは絶対あつてはならないが、村の意志を伺う。

村長

過激、反社会的運動者、またはそういうおかしな者については断固村から排除したい。そして村へも迎え入れる考えは一切無い。出来る限り行政の力として村民が安心出来る村、5千年も前から栄村に住んでいる方々が先祖として栄村は生きてきている。それを守らなければならぬと考えている。

質問

住民の声を反映した村政の現状の課題の中で、「集落懇談

会」「婦人懇談会」等への取り組みはどのようになっているのか。多くの村民による自らの体験、理念などによるアイデアが村政に反映されることが村民参加意識の向上の面からも重要と考え、希望ある「アイデア箱」を庁舎入口に設置し、明るい村づくり役に役立つ栄村応援箱としてアイデアを募り、村政に活かす方法を求める。

総務課長

集落懇談会について、28年度の参加、29年度は17集落147名。特命対策課が主管の女性の会については、今年度3地区21名で、今後は、東部地区で計画している。庁舎と秋山支所に「目安箱」を設置、ホームページに「行政意見箱」を設けてある。それ以外でも電話等、随時要望などを返答、検討を行っている。「目安箱」の扱いについても村に対する批判のみならず建設的な意見もあり、もつと「目安箱」の活用の工夫を考えたい。

質問

村民の要望、意見等が主流とされる「目安箱」は自ら持つ夢、希望、着想、発想を村政に反映可能な「栄村応援箱」と考えるこの手法について伺う。

総務課長

庁内で検討したいと思っている。



保坂良徳議員

消防団員の処遇改善は。来年度予算の編成会議の方へ上程していきたい。

栄村の防災計画の見直しについて

質問

①防災マニュアルの見直しの協議はされたのか。②来年度消防団員の処遇改善は。③秋山郷への救急車配備について、今年度中に結論を出したいと言っていたが。

総務課長

①今年度3月までに意見を伺う機会を設けて、来年夏ごろまでに意見を集約し素案をつくりたい。②消防団員の処遇改善は来年度予算の編成会議の方へ上程していきたい。

特命対策課長

③秋山地区に施設、救急車の整備は難しいが、それに替わる手立てを今後研究していく。

各地区の生活環境対策について

質問

①買い物対策について社協から何らかの対応策を聞いたか。②公営住宅の必要性について、どのような研究をされているのか。

村長

私はまだ聞いていない。

住民福祉課長

①生活援助の形でヘルパーに頼む事は以前から実施していて、ある程度充実していると思うが、今後も更に努める。

産業建設課長

②30年度にすべて点検調査し、10年先を見据えて総合振興計画とリンクして長寿命化計画を策定していく。

質問

集落支援金事業の増額は出来ないか。

村長

集落懇談会で要望を聞いて研究する。

村民の声について

質問

各地区や様々なところから上がってくる要望は役場の中でどのように対応しているのか。

村長

担当課、担当部署で研究し、理事者に上げて再度検討して回答している。私が昨年から受けたものについては出来る限り年数を振って答えている。

質問

実施計画に表記された事業が説明なしに区長会等で覆ったのはなぜか。昨年12月に出された保育園の要望書に回答が無いのはなぜか。

産業建設課長

実施計画上の策定が甘かった。大変ご迷惑を掛けましたがご理解いただきたい。

住民福祉課長

担当課の怠慢であつて、今後このような事の無いように努めていきたい。12月中に保護者を開き、年明けにも協議して回答したい。



月岡利郎議員

ひんご遺跡の出土品はいつ戻って来るのか。

教育長 平成30年度以降に譲与になるのではないかとと思う。

ひんご遺跡の出土品返還に向けての対応策と現状について

質問 地元の皆さん、村内の皆さんの協力で発掘された「ひんご遺跡」であるが、出土品はいつ戻って来るのか。また戻って来た時の対応は。発掘された現地の標示等について伺う。

教育長

県の埋蔵文化センター関係の作業はかなり進んでいると思う。当初の想定より発掘された出土品の量がかなり多かった事から、その後の調査・整理・復元作業等に予定より時間を要しているとも聞いている。調査の完了後に地元の自治体から県の教育委員会に譲り受けの申請を行って出土品を譲与するという事になる。9月現在、土器、土器片を含め、出土された物がプラスチック箱で約400箱位、大型段ボールで10箱位、今まで調査さ

れたファイルが数十冊と聞いている。そういう物が平成30年度以降に譲与になるのではないかとと思う。「ひんご遺跡」に関する看板のような物、現地で発掘された敷石等も含めた総体的な「ひんご遺跡」を説明出来る内容の物については、県の埋蔵文化センターの関係者や地元の皆さんと相談しながら進めていきたい。

地域の伝統芸能の認定と後継者育成について

質問

少年高齢化で人口が減少する中で、昔からの伝統芸能「獅子舞」等を文化の継承として支援する考えは。

教育長

個人個人、一人一人の心の持ち方、信仰心、そういう事にも繋がってくると思う。獅子舞の継続などは地域文化として大変大事な事であるが、神事でもある。基本的には各集落の皆さんの話し合いの中で、地区において決めていくことが大事だと思う。文化の継承や後継者の育成については大きな課題として捉えている。子どもたちの故郷学習、故郷教育に力を注いでいく中、各生涯学習関係事業、公民館事業等々の見解からも地域を担う若い人材の活躍に繋がってくれる事を期待しているところである。



齋藤康夫議員

種子法廃止による米、麦、大豆の供給が不安定になる恐れについてどう思うか。

長 今後は県と同じ行動と村 という事で考えている。

種子法廃止法案の問題点について

質問

2016年10月6日に規制改革推進会議農業ワーキンググループが唐突に「主要農産物種子法」の廃止を打ち出した。

種子法は、米、麦、大豆などの主要農産物の品種改良を国・都道府県の公的研究機関が行い、良質で安価な種子を農民に安定的に供給してきた法制度である。

種子法の廃止によって日本でも公的育種、種子事業が短期間のうちに国内大手や巨大多国籍企業の主目ビジネスに置き換わってしまう可能性がある。

これまで築き上げてきた制度、体制を弱め、有料種子の供給が不安定になる恐れについてどう思うか。

村長

今のところ栄村において関係するのは稲の種子と考えている。長野県原種センターは、県、JAグループ、市町村関係が一体となって設立したものであるが、このセンターを中心に関係機関が一体となり、影響が出ない様に対応すると回答されている。村としてもそれを信じ、質問にある独占に繋がる可能性は無いと捉えている。今は県と同じ行動という事で考えている。

国民健康保険の保険者都道府県化に伴う栄村の状況について

質問

高すぎる国保税を払えない滞納世帯は2016年現在、312:5万世帯で全加入世帯の15%を超え、6軒に1軒が払えない状況が続いている。

都道府県化が2018年度から始まる。栄村の住民生活にどの様な影響を与えるのか。また、保険税の増減はどうなるのか。

住民福祉課長

現在の保険より高くなる試算が出ている。但し、半数以上は65歳以上で、財政調整基金の繰入で、出来れば値上げしない方向で進めたい。滞納者へのペナルティーは今のところ無い。また、滞納者や滞納金額については会計税務課とも協議しながら処理をしている。



相澤博文議員

職員体制の課題をどう見ているのか。

村長 財政規模にあつた職員体制に整えなければならぬ。

行政サービスと職員体制について

質問

地方公共団体は住民の福祉の増進を図る事を基本として行政を自主的かつ総合的に実施する役割を担うもの。その中で栄村は財政力指数は長野県77地域の中で75番目と財政力は厳しくなっている。現在職員数74名、臨時職員26名の現状にどう課題を見ているのか。将来に向けての考えを伺う。また、職員研修についても伺う。

村長

長野市は大きいから職員は多い、栄村は小さな村で財政規模も小さいから職員も少なくて済むという事は成り立たない。長野市で100の事業を行えば栄村も100の事業をしなければならぬ。ただ職員を減らしてもいい方向に向けることは出来ない。しかし、財政規模にあつた職員体制に整えなければならぬ。民間で出来

るものは民間に移したいと考える。定員管理計画で74名から72名にしたい。

副村長

地方公務員法第39条を基に、昨年度末に人材育成計画を策定し、階級、経験年数等を鑑み、計画的、継続的に取り組んでいる。

自然保護審議会について

質問

自然保護審議会では開発行為の議論がなされているが、自然保護の関係では議論されていない。栄村の総合振興計画で私どもの域を超える問題があるので手を付けられない様な話も出ている。ギフチョウを捕つていく、昆虫類を捕つていく、秋山にあるチャツボミゴケは収集家に持ち去られている情報が入るなど守られない自然は滅びていく。自然保護審議会はどうなっているのか。

村長

栄村の貴重な宝物、財産が消失してしまうという事については早急に担当部署を通じて審議会を開き、守るものについては守る。台帳整備等しながら研究していきたい。

商工観光課長

栄村としてどうして守らなければならぬ事であれば規制基準を設け、何が出来るか調査研究する必要があると思ふ。



桑原武幸議員

雪坪スノーシェッドを延長し、旧宝山荘入口の道路整備が出来ないか。

産業建設課長 十日町地域振興局地域整備部へ要望、地形測量を実施。

台風21号による長瀬く笹原間の土砂災害について

質問

10月23日未明、台風21号の影響により、長瀬く笹原間で土砂崩落があり通行止めとなった。11月28日の説明会で、「12月10日前後で片側通行出来るが、雪が50cm以上（現在は150cm以上）降れば通行止めとなる」という事であった。迂回路となる長瀬横倉停車場線（原向く長瀬間）は道幅が狭く、冬期間危険な箇所も多いので安全対策をどのように考えているか伺う。

村長

1週間ほど早く片側通行を実施した。原向から下る危険箇所は建設事務所が簡易な対策は取っている。

産業建設課長

迂回路対応措置は急こう配区間の対応、カーブミラーの設置、冬期間の機械

除雪、塩カル散布の頻度を上げるよう要望。建設事務所からの情報を住民の皆さんに速やかに周知する。

要望

説明会の時にもお願いしたが、信号機をつけていただきたい。

志久見橋整備について

質問

志久見橋は昭和38年10月に完成し54年になる。老朽化も進み道路も狭くカーブも急で、冬期間はスリップ事故等もあり危険な場所である。雪坪スノーシェッドから旧宝山荘上の道路に繋がる橋の架け替え工事が出来ないか。困難であればスノーシェッドを延長し、旧宝山荘入口の道路の整備が出来ないか伺う。

村長

千曲川を渡って物産館の方へ橋を架ける、東部地区会長名義で要望、陳情をした経過がある。

産業建設課長

老朽化、道幅が狭いという事は県も承知している。平成28年度に実施した橋梁点検の結果は、舗装など傷みはあるが深刻な損傷は認められない。現在の交通量から比較しても補修程度で対応できる。県はスノーシェッドを延伸する予定は無い。宝山荘から交差点までの道路改良を十日町地域振興局地域整備部へ要望し、今年度は地形測量を実施。

桑原議員

期成同盟会を立ち上げて要望していきたい。



松尾眞議員

移住者の住宅確保と仕事の確保について

村長 リフォーム事業を見直す。協力隊終了者の活用を研究する。

人口対策、移住・定住政策について

質問

移住を希望する若者には、空家・古民家を自分などの手で徐々にリフォームして良いものにしていくという人が多い。現在の栄村のリフォーム支援事業などは対応できていないのではないかと。

国が移住者支援、起業支援にふるさと納税を活用する場合、自治体に特別交付税を出すというニュースがある。移住者支援にふるさと納税を活用する考えはないか。

村長

リフォーム関係の事業は見直しをかける。移住支援へ、村が迎え入れる窓口もしつかりしなければならぬ。村の窓口を一本設けなければならぬ。

特命対策課長

若者の田舎回帰という機運はたしかにあるのではないかと。ふるさと納税の活用に関わる国の支援、まだ具体的なことは把握していないが、活用していければと思う。

質問

移住者支援には、地域おこし協力隊の任期終了者の活用が望ましい。また、協力隊が集落の中をいろんなことで動き回っていることが高齢者の元気の源になっている。協力隊を終えた人が協力隊員時にやってきた集落の色んな人に声をかけて廻る仕事を続けるならば、それ相応の報酬を出す、移住者を獲得すること自体が仕事・産業になるなど村が協力隊終了者に思い切つてそういう仕事に取り組んでもらうというのではないかと。

村長

良い提案をいただいたので、早速研究したい。

秋の観光の結果をどう捉えているか？

質問

「今年の観光にはこういう成果があった」、「問題点があった」とか、どう考えているか。観光客の動態、反応をどのようにつかんでいるか。昼食が食べられる場所、秋山へのアクセスについての情報発信が弱いのではないかと。

村長

冷夏、台風の影響で、観光の足が伸びてこなかった。JRのキャンペーン、宣伝をめぐって、JRとの連絡が密でなかった。今後、もっと早めな観光宣伝に取り掛かっていきたい。

商工観光課長

スキー場のフェイスブックは登録者が約2千人いる。



阿部伸治議員

「空き家バンク」を立ち上げたが、今後の展開について。

村長 総合的に事業の見直しも含め取り組む。

空き家再生事業の進捗について

質問

空き家再生の今後に関しては過去の一般質問の答弁の中で改めて空き家の調査をし、進めるとされていた。また空き家バンクも立ち上げた様だが、それがどの様な機能を有し展開されるのか伺う。

村長

新しい取り組みとして進めた志久見住宅も入居者も決まり地域の明るいニュースとなっている。今後も整備できる空き家に関しては整備していく。空き家バンクを通じて家を借りるにも水回りの改修は必須になると思う。そうすると今の50万、10万の補填事業では無理だと考えている。総合的に事業の見直しも含め取り組むよう担当部署に指示してある。

質問

年間に何戸という様な目標を持ち、進めるのか。

村長

今登録されている物は全て個人財産なので簡単に手は出せない。モデル的な物をつくりながら次へ進めていく。

秋山地区に民間デマンド+α構想を

質問

津南から秋山間の路線バス、ダイヤ削減を機に、秋山地区に地域の足となり、また観光案内等にも使える様な「コンビニエンス」的な運行システムは出来ないか。地域からは「働ける場を」という声も聴いている。今まで路線に拠出してきた補助金等鑑みても財源の確保にも目途がつかうチャンスと思うがどうか。

村長

秋山地区の交通には総合的に見直しが必要という事で住民福祉課を中心に研究をしている。その中で「地域の足と観光面にも」という事は考えている。村の中から起業してくれる人でもいれば事業設立は問題ないと思うが、2年前から運転手を募集してきたが見つかからないというのが現状だ。

質問

システムづくりという目的を明確にしながら「地域おこし協力隊」を利用できないか。

村長

募集が可能であれば募集した業起こしという形に持っていきける。募集して来るかどうかは分からないが、取り組めるものは取り組んでいく。

1月15日のどうろくじん



公民館報

さかえ

第321号

平成30年2月1日発行

- 発行
栄村公民館
〒389-2703
長野県下水内郡栄村
大字堺 9214-1
- 電話
0269-87-2100
- 編集
栄村公民館報編集委員会

小赤沢区長 福原 弘義

小赤沢区では、「どうろくじん」で「どんど焼き」を1月15日（小正月）に行っています。数年前、区の総会にて、「15日は平日になる年もあってあまり人が集まらないので、1月の第2土曜日にしたらどうか」という意見があり、29年のどうろくじんは第2土曜日である14日に開催しました。当日は雪でやぐら回りの除雪を行い、小赤沢から近隣に出た子どもや孫たちが集まって、厄年の人達がお菓子やみかん等をまいたものを、大人や子どもが拾っていました。しかし、第2土曜日に実施していくと、日にちがだんだん若くなり、2022年には1月9日に実施する事になります。また、小赤沢区では、道路除雪者が多く、「第2土曜日は天気次第で出席できるかわからない」となれば平日行ってもよいのではないかと、という意見もあり、30年からはこれまで通り、1月15日（小正月）に行うことに決まりました。今年は平日開催にも関わ

らず、晴天に恵まれたおかげか、区の前ほど人が集まりました。

小赤沢のどうろくじんは、火入れの前にやぐらの回りをお神酒で清め、その後全員にお神酒を配ります。そして午後4時に区長と厄年の人で火入れを行い、点火後は、思い思いに無病息災・家内安全を願って、めえだまの木（ミズキ）にだんごや餅をつけたものをこの火で焼いて食べ、「習字が上手になるように、頭がよくなるように」と願いながら書初めを燃やします。火が弱くなってきた頃、厄年の人が厄をみんなに分けて一年乗り越えようと、ミカンやお金、お菓子等をまきます。又甘酒やお酒をふるまいます。そして焼けた灰を額につけて帰る人や、玄関に飾ろうと燃えた松の炭を探す人もいます。昔はどうろくじんの灰をつけた雪玉を持ち帰り、自分の家の屋根を投げ越すと火除けになるといって、皆黒い雪玉を持って帰ったそうです。

こらっせ通信

栄村には「冬籠り」という言葉があるように、雪が降る日は家にこもって針事や編み物、テレビ等思い思いに過ごす方も多いのではないだろうか。

雪が深々と降る1月下旬、栄村公民館では「みのづくり研究会」を開催し、技術の掘り起しを行いました。材料は秋の彼岸前に収穫した「ヒロノ（ミヤマカンスゲ）」。「一人では不安だけれども、他に仲間がいれば思い出せるかもしれない」という方3名（桑原トキさん〈中野〉、藤木イ



チさん〈中野〉、藤木みちさん〈極野〉)に集まっていたとき、「どうやっただかなと考えて夜も眠れない」というほど奮闘していただきました。3名の平均年齢は88歳と高齢ですが、親から継承し、培ってきた技術はしっかりと体に染みついていました。もう少しでみのづくりの技術を掘り起こすことができそうです。

また、栄村の冬に欠かせないのがこめつこな。公民館講座として「みみだんご教室」と「あんぼ教室」を行いました。0歳から80代の方に参

加していただき、にぎやかな雰囲気の中で、楽しく郷土料理を継承することができました。やっぱり女性は活力の源ですね。

謹んで哀悼の意を表します

栄村原向出身
理学博士

故石沢 進氏(84)



1月24日、石沢進先生がすい臓がんのためお亡くなりになりました。

先生は、新潟大学理学部教授を退官した平成13年から、村内植物調査を開始。以後、栄村自然学校の校長として(26年まで)、自生する植物から栄村の自然が豊かであることを子どもたちに伝えてきました。また、村民向け希少植物講座や栄村自然植物園(北野天満温泉奥)の管理・育成にもご尽力いただき、「植物と風景」写真で見るとユキツバキノの一生「栄村自然植物園報」といった栄村の植物に関する書籍も発行。生前は「希少種がある」ということは、その自然が豊かであるということ。栄村に生息する希少種を植物園に定植し、そこに行けば、栄村の特徴的な植物を見ることができるような植物園をめざしたい」と語っておられました。

まだまだご指導いただきたいことが多くあっただけに、残念でなりません。私たちの自然豊かな栄村を象徴するものとして、先生の想いを引き継ぎ、これからは私たちの手で植物園を育成していきましよう。

こらっせ来館者数

12・1月の来館…246名
平成29年度累計…1,877名

成年に思う

村内の成年は144名。今年も年男・年女の皆さんにインタビューに答えていただきました。

今年のインタビュ内容

- ①今年チャレンジしたいことや目標、決意を教えてください。
- ②栄村に暮らして「よかったなあ」と思うことは？
- ③あなたのモットーや座右の銘、日ごろ心がけていることは？



平成18年生まれ

廣瀬菜央さん(森・屋根屋)



- ①スキートのパラレルターンを上手にすべれるようになりたいです。6年生になるので、最高学年として児童会などががんばりたいです。漢字テストで1回ぐらいいは、100点をとれるように頑張りたいです。
- ②自然といつしよに遊べるところ。

- みんなと仲良く遊んだり、学びあえる。雪がたくさんふつていつぱい雪あそびができる。
- ③地域の人に大きな声であいさつをする。

月岡穂希さん(白鳥・川端)



- ①バンジージャンプ!!
- ②特に良いことはないが、生まれてきたのでまじきつしている!
- ③みんなにあいさつをする。

平成6年生まれ

齊藤真琴さん(北野・こういむ)



- ①今年健康に気を付けて、何事にも全力でがんばる!自分やまわりの人の役に立てるような行動をする。
- ②近所の人が優しく、誰でも気軽に声をかけてくれる。
- ③お年寄りにやさしく!



大庭達也さん(箕作・ないむ)



- ①教員になつても高校から続けている円盤投げをしたい。
- ②雪があること。
- ③自分以外師匠

昭和57年生まれ

鐘水 愛さん(長瀬)



- ①今年から山菜採りやぜんまい干し、畑等村の母ちゃんたちに教わりながら四季の暮らしを丁寧に楽しめよう頑張つていきたいと思つています。
- ②人がとてもあたたかく、日々がとっても楽しいです。雪は大変ですが、晴れた日の美しさや、春の喜びを感じられるのは、四季がはっきりしている栄村だからこそだなと思つています。栄村に暮らして本当によかったです。
- ③笑門来福!!



島田 洋さん(青倉・四ツ谷の隣)



- ①当たり前のことですが、一日一日を無事に終えること。ふらふらと一人旅で飲み歩きもいいですね!
- ②人の温かき。田舎ならではの景色の良さ。
- ③人命を預かる仕事上、常に安全第一を心がけてやっています。



昭和45年生まれ

山本祐子さん(野田沢・おめ)



- ①子どもたちの目標への応援と、心身ともに健康でありたい。
- ②人と人とのつながりがあつて、助け合つていてすばらしい。
- ③「短気は損気」「つらい事の後にはきつとうれいし事がある」

和信夫さん(小赤沢)



- ① 昨年は移住2年目の年でした。毎日が忙しく、時間に追われ、いつの間にか一年が過ぎました。今年は少しでも何かに熱中できる時間をもちたいです。
- ② 夜が限りなく静かな所。(日中もだけど！)
- ③ 特になし。

昭和33年生まれ

桜沢文江さん(平滝・下元屋敷)



- ① 富士登頂、ご来光を拝むこと。自分がやりたいことをゆつくり見つけること。

- ▶ 教え子が描いた似顔絵
- ② 早朝、天気の良い日の冬景色は最高。まだ夜の余韻をひっばる暖かい街頭の光とまっ白な雪に覆われた様子はクリスマスツリーのようにきれいだなと思います。雪の下野菜の味は最高。甘みが増してもおいしいです。
- ③ 追われて生きるな求めて生きよ。



上倉庄栄さん(横倉・上向)



- ① お百姓さんになります
- ② 四季の移り変わりの変化。都会では暮らしていけない人間です。
- ③ どんな時でもポジティブに考えるようにし、気持ちを明るく。

昭和21年生まれ

福原セツさん(小赤沢・さえんどこ)



- ① 今年も元気でいること
- ② 孫や息子夫婦と一緒に暮らすことができて毎日楽しく忙しくよかったです。
- ③ 野菜を毎日食べることを心がけています。

南雲 守さん(月岡・きんにむ)



- ① 魚釣り。ウォーキング
- ② 村民の人柄がいし、近隣同士の絆が強い。
- ③ 健康に気をつけている。

昭和9年生まれ

島田マツさん(青倉・下沢田)



- ① 夏は畑仕事、時間のある時は昔から好きだった裁縫を続けること。
- ② いい仲間がいて、行ったり来たりできること。
- ③ みんなと仲良く過ごして、転ばないように、ケガをしないようにも少しがんばろうと思っている。

油科仲一さん

(平滝・油科モータース)



- ① 健康で若い人に迷惑にならないようにゆったりと過ごしたい。
- ② 仲間がいること。仲間のいる米村で自転車屋を初めてよかった。
- ③ 健康に気をつけて、できるだけ大勢の人と付き合うこと。政治のニュースは必ず目を通している。



大正11年生まれ

山田まささん(屋敷)



- ① 元気でいられれば、自分で食べる野菜ぐらいは作りたい。デイサービスに行つてみんなとおしゃべりしたい。
- ② 子どもたちが帰つて来てくれて、一緒に住んでいられる事。今はひ孫が遊びに来てくれるのを楽しみにしている。
- ③ 自分でできることはなるだけやりたい。「老いては子に従え」と思っている。

中村アヤさん(長瀬・五郎)



- ① ノート(日記)は去年からとれなくなつてしまったけれど、歌を唄ったり、身ぎれいにしていきたい。
- ② やらうと思つていたことができたこと。
- ③ 3食のご飯とおやつをしつかり食べる。



あーそんなことがあったんか
 〓千曲川の改修を目論むこと④〓
 〓先生の栄村昔語り〓 其の二十六



地域史料保全有志の会
 鈴木努 (通称:ど先生)
 イラスト作成:佐藤洋平

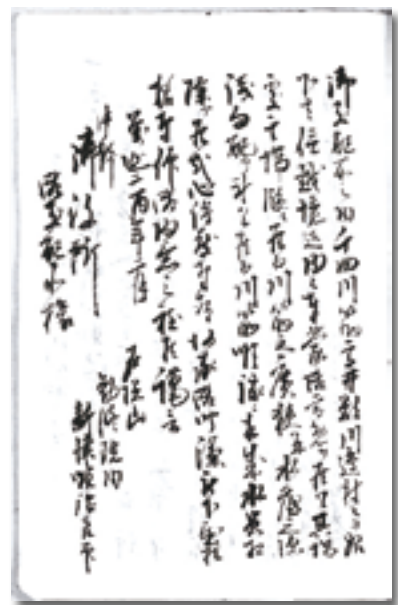
年明けから寒気が厳しくなり、大雪となりました。皆さまいかがお過ごしですか。少し遅めの挨拶になりますが、今年もよろしくお願いたします。千曲川改修の話題、これで四回目になります。古文書の内容より説明が多くなつてしまい、恐縮ですが、もう少しお付き合ってください。

前回までに紹介しました願書の示す方針をまとめてみると、「弘化の地震以来、犀川・千曲川に土砂が溜まっているので取り除く、そして蛇行した川筋を河川敷の中央

に真っ直ぐ通す、そのために埋まった所を深く掘り下げ、川幅が広くて浅い所は深く浚つて掻き流す」といった内容になります。願書には、それを実現する方法が続いています。

掻き流しでは沢山の土砂を流すので川の上筋と下筋が同時に取り掛からねば、どちらかの故障になる。特に立ヶ花は川幅が狭く川底に大石が見えて水吐ぎが悪い。だから平水位の時も油断なく人力を竭し、減水時にはさらに川底を深くするよう、上筋は犀川・千曲川とも浚い流し、下筋は高井・水内両郡の限りまで、「浚流しの仕法」をする。そうすれば川は順流になり、荒地や水腐れ地も自然と水除けになり、五穀成就の殊恩を蒙るだろう。「浚流しの仕法」は川浚いをした土砂を川に掻き流すという方法だ、

願書の末尾の新津順治郎の記名



と言っています。辞書で「川浚い」を引くと「浚漈」と同義であり、「浚漈」は「水底の土砂を掘り取り、運搬処分すること」とあります。すると「浚流しの仕法」は、掘り上げた土砂を運ばずに川に流してしまうことが特徴のようです。これがどう画期的なのか、この仕法を推す理由は何か、それを解く手がかりは出願者にあります。

この願書は新津順治郎という人が作成しました。順治郎の署名の肩に「戸隠山 勧修院内」と書かれています。戸隠山はご存知の通り現在の戸隠神社のことで、明治初期に神仏分離、修験道禁止となる以前、「戸隠山 顕光寺」だった頃の呼び名です。勧修院はその本坊(戸隠山を統括する別当職)でした。

彼が勧修院でどのような地位にあったかは不明です。ところで彼については、長野市豊野町にあった南郷村の出身であり、下総国(千葉県)の印旛沼干拓事業に参加して、その現場で使われた水揚げ道具を覚えて帰り、用水に悩む故郷にその技術をもたらした、という話が

が伝えられています。確かに、印旛沼の干拓事業をまとめた書籍には、新津順治郎の名前が彼の書いた文書とともに載せられていました。続きます。

地域史料保全有志の会
 平成29年度報告会開催!

震災以後、栄村の民具や文書といった文化財の保全・調査を行ってくださった「地域史料保全有志の会」のみなさんによる、平成29年度活動報告会が開催されます。今年はこのよつな新発見があったのでしょつか。

期 日 / 3月4日(日)
 会 場 / 栄村歴史文化館(1503せ)
 内 容 / 後日告知放送等でお知らせいたします

図書館だより

3歳児図書プレゼント実施



3歳児への絵本プレゼントは、絵本に親しみを持ってもらうことはもちろん、0～2歳までの物やリズムの絵本からお話の絵本へ以降することを保護者のみなさまにお伝えすることを目的に、今年から始まった事業です。「文字の多い本は子どもたちにおもしろい」と思われがちですが、3歳～4歳頃になるとシンプルなお話が理解できるようになり、文章の長い、短いに関わらずお話を楽しめるようになってきます。昔話や冒険、日常生活にそった絵本等種類もたくさんあります。いろいろなお話に触れて、お気に入りをみつけましょう。

新着図書の紹介

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ 大活字本の紹介 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★

★一般図書★

- ホワイトラビット／伊坂幸太郎
- 屍人荘の殺人／今村 昌弘
- 配達あかさきん／大崎梢
- 消えない月／畑野 智美
- 自律神経どこでもリセット! すぼらヨガ／崎田 ミナ 他4冊

芥川賞・直木賞受賞作品も入荷!

★芥川賞

- 『おらおらでひとりいぐも』若竹千佐子
- 『百年泥』石井遊佳

★直木賞

- 『銀河鉄道の父』門井慶喜

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ えほん 良書を充実! ★★★★★★★★★★★★★★★★★★



こねこのぴっち
絵・文／ハンス・フィッシャー
福音館書店



かいじゅうたちのいるところ
作／モーリス・センダック
富山房



やまなしもぎ
再話／平野直 画／太田大八
福音館書店



100かいだてのいえ
作／いわい としお
偕成社 他14冊

大活字本の紹介

一般図書よりも文字が大きい「大活字本」もそろえています。お気軽にお問合せください。

★蔵書紹介★

- ゲゲゲの女房 武良布枝
- ALWAYS三丁目の夕日 山本甲士
- おくりびと 百瀬しのぶ
- 家族熱 向田邦子
- 団欒 乃南アサ
- 淋しい狩人 宮部みゆき

冬期間は村内移動図書館が各集落を巡回しています。読んでみたい本を事前に予約することもできますので、お気軽にお問合せください。

移動図書館巡回日は毎月第2・4週
水：東部地区、木：西部地区、金：秋山地区
 詳細は栄村公民館図書館(87-3118)にお問い合わせいただくか、11月に全戸配布した巡回表をご覧ください。

図書館 開館時間

平日：午前8時30分～午後5時
 土日：午前9時～正午
 休館日：2月／10日、11日、12日(振替休日)
 3月／21日(春分の日)
 4月／28日、29日、30日(振替休日)

おおきくな〜れ 毎日にきやかであ!

りくと さつき あまな
陸斗くん **彩月**ちゃん **天夏**ちゃん
(2さい・左) (9か月・中) (5さい・右)

ケンカをして泣いたり、泣かされたり…。
でも仲の良い3人です。

関 正雄さん・瞳さん宅(長瀬)



年輪 (150)

年輪は風雪に耐えて積み重ねた歴史であり銘木の条件でもある。
激動の明治・大正・昭和そして平成を生きてきざみ込まれた人
生の年輪は磨かれた銘木のごとく輝く。

- ①人生を振り返ってみて…
- ②うれしかった・楽しかった
思い出は…
- ③今思うこと・言いたいこと



阿部秀幸 小赤沢 (84歳)



山田はない 上野原 (88歳)



福原イス子 小赤沢 (81歳)

①小赤沢生まれ。新制中学校卒業。中学校最後の一年は、学校の建築の関
係で、現在の秋山保存民家で授業を受けていた。卒業後は家の商売を手
伝いながら百姓に熱中した。当時移動はすべて自分の足だったので、津
南まで出て品物の仕入れに行き、背負って帰ってくるのは大変だった。
妻を早くに亡くしたため、その後子どもを学校へ出すのが大変だった。
②若い時が一番良かった。仲間も大勢いたので、いろいろなことにつ
いて話し合ったり遊びに行ったりした時が一番楽しかった。一番う
れしかったことは、息子の嫁が秋山に嫁いできてくれたこと。
③こうやって子どもや孫たちのそばにいられることが幸せ。この先の
ことを考えると、秋山がどうなっていくのか不安もある。秋山だけ
でなく、村全体がそうかもしれないが、子どもがどんどん増えてく
れば良いと思う。

①上野原生まれ。尋常高等小学校を卒業後、家の百姓を手伝った。結
婚してからは山菜を採って売ったり、米作りを必死で行った。当時
は田んぼがいくらもなく、赤土のある山へ行つてリンゴ箱に土を
入れて背負い、田んぼまで運んだ。牛を連れて田んぼへ行き、石の
ある田の中で鼻取りをしたのが忘れられない。昔に比べたら今は御
殿のよう。
②大きな病気をすることなく、健康で過ごしてこられたこと。この体
で貧しい生活もやり抜くことができた。息子たちの嫁がいい嫁で、
面倒を見てくれるので幸せ。
③人となるべく交わって、認知症にならないように心がけていきたい。
人と交われば、いろいろな話ができたり、笑いあったりすることが
できる。

①津南町上結束生まれ。新制中学校卒業後、家の百姓を手伝い
ながら出稼ぎに東京へ出たり、十日町で勤めたりしていた。21
歳で結婚。最初は方言もよくわからなかった。田んぼや畑が、
楽養館や矢櫃、ガソリンスタンドの山の上の方とそれぞれ遠い
ことに驚いた。弁当持ちで田畑へ行き、馬を連れて田んぼを耕
したり、稲を運んだりするのが大変だった。
②子どもが生まれた時が一番うれしかった。子どもや孫が遊びに
来て、一緒に過ごしている時が一番楽しい。
③子どもや孫、ひ孫がそれぞれ健康で暮らしていることが一番い
い。それが一番の幸せ



私は、3年前の4月より特別養護老人ホームフランセーズ悠さかえで介護士として働いています。祖父母が青倉なので、その離れに住んでいます。栄村は自然が豊かなとこなので気に入っています。春には自宅の農業なんかも手伝います。今の時期はさかえ倶楽部スキー場でボードを楽しんでいます。

田辺 源 (20歳) 青倉

村民広場



早いもので、もう飯山高校の卒業を迎えてしまいます。あっという間の3年間でした。この記事を書くにあたって高校生活を振り返ると、部活のことが一番思い出に残っています。昨年は市町村対抗駅伝で栄村チームとして最終区を走らせていただきました。(ぜひ栄村チームのユニフォームを作ってほしいです) また、2年生から始めた「競歩」という競技では、最後の大会で自己ベストを出すことができました！私は今、進学に向けて頑張っています。たくさんの人に支えてもらっていることを感じ、これからも周囲の方に感謝しながら残り数週間の受験戦争を頑張りたいと思います。

鈴木皓太 (18歳) 志久見

栄村に様々な 専門家が来村します♪

○地域史料保全有志の会

古文書専門家 白水 智先生
民具専門家 石野律子先生

2月11日(日)~13日(火) 3日間

廣瀬家文書の調査や栄村の民具調査を行います。興味関心のある方は栄村公民館までお問合せください。

お問合せ先：栄村公民館 (87-2100)

編集後記

過日、ある人のライン(スマホなどでメールや会話できる手段)の会話がみーんな方言でもしれんどお。という会話で盛り上がりました。気づくと、普段の会話から栄村弁が消えつつあるような気がします。方言は、先人から受け継がれた最高の贈り物のような気がします。意味は分からなくても温もりであったり、連帯感を醸したり。「げくん降ったつけな」「へーさつっただてな」こんな会話で春を待つのです。

義

今月の一句 栄村俳句会

山眠る 田のにぎわいを 夢見つつ 杉浦恵子

三十年 続きし太鼓 冬の晴れ 柳 静江

小春日や 集落一周 四千歩 馬場澤子

冬満月 村の喫茶の 灯のうれし 関谷貞子

湯の宿や 遠き迂回路 山紅葉 齋藤はる子

人は皆 一人じゃないよ 秋の空 福原勇一

晩年は 二人三脚 枯尾花 山田セキ

年の瀬や 俺と猫様 炬燵番 山田政治

今月の栄っ子

vol.11
～道祖神～



栄小学校「秋山分校」では1月15日に行われた小赤沢集落の「道祖神」に参加しました。

秋山分校で唯一の児童、福原弥夢君（小4）は担任の先生と一緒に「まゆ玉」や自分で書いた「書初め」を燃やしその後、住民の方々とお楽しみの「みかん拾い」をしました。

弥夢君は、「毎年道祖神は、おもしろくて楽しみにしている！」学校生活の中では「体育が一番好きで、今の時季はスキークロスカントリーが楽しい！」と話してくれました。

家でお父さんがマタギをしている姿を見て「いいな～！」と思い、将来は家の民宿をやりながら熊やウサギなどを捕ったりする「マタギになるのが夢！」と笑顔で語ってくれました。

（取材 特命対策課）



▲書初めをもって道祖神へ参加



▲みかん拾いは熱くありません

